



# CBT Series 取扱説明書



## 対象製品型番

CBT 50LA  
CBT 100LA

CBT 70J  
CBT 70JE

このたびは、コラムスピーカーシステム「CBT Series」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

## ▽ 目次

安全上のご注意.....	2
はじめに .....	3
特長.....	3
切替スイッチの設定.....	4
トランスタップの切り替え	
Music/Speech モードの切り替え	
垂直方向のカバレッジの設定	
設置方法 .....	5
壁への設置方法	
スピーカースタンドへの設置方法 (CBT 50LA、CBT 100LA、CBT 70J)	
仕様.....	9
寸法図.....	11
付属品の寸法図.....	12

## 安全上のご注意

お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を以下に記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにし、記載事項をお守りください。

※スピーカー本体の不良以外で発生した事故や取扱説明書に記載されている事項を無視して発生した事故、設置方法の不備による落下などの事故に対する責任は一切、弊社は負いかねますのでご了承ください。

※危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の二つに区分しています。

### 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・スピーカーを水中に沈めたり、直接水をかけないでください。火災や感電の原因となります。
- ・取付工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。
- ・平坦かつ厚さが均一で重量に耐えられる壁に取り付けてください。強度が不十分な場合には落下事故などの原因となります。取り付け場所の選定には十分注意し、補強作業を施して安全を確認した上で取り付けてください。
- ・スピーカー本体に設置状況に応じたワイヤーを通しておくなど、落下防止対策を十分施してください。
- ・振動する場所、油の付着しやすい場所、氷結、積雪の激しい場所、風呂・シャワー室など湿気の多い場所やほこりの多い場所には設置しないでください。金具の劣化による落下や火災の原因となります。
- ・可燃性ガスが発生する場所で使用しないでください。爆発する恐れがあり、危険です。
- ・配線は正しく行ってください。誤配線によるショートなどは火災の原因となります。
- ・過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となり危険です。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・接続ケーブル類が傷んだら（芯線の露出、断線など）交換してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源を切って使用をやめ、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

### 注意

人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・それぞれのスピーカーの重量を確認し、開梱や持ち運びの際にけがをしないよう注意してください。
- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、取り付けずに修理を依頼してください。そのまま取り付けたら、火災や落下の原因となることがあります。
- ・付属品などの金属のエッジでけがをすることがあります。十分気をつけてください。
- ・ネジなどの固定部位の締め付けはしっかり行ってください。部品の落下などでけがや器物破損の原因となります。
- ・スピーカースタンドに取り付けて使用する際は、8ページを参照し、安全に設置してください。
- ・取り付け部が劣化すると、落下などの原因となります。定期的に点検をしてください。
- ・配線はパワーアンプの電源を切ってから正しく行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・パワーアンプの電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

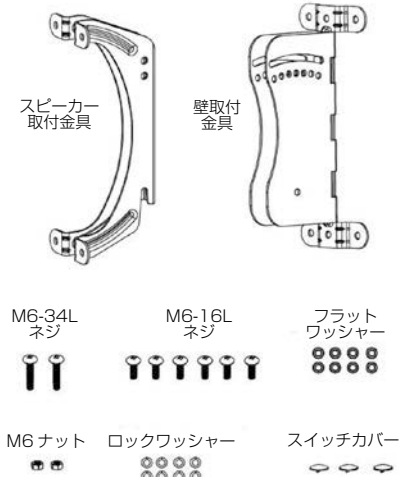
# はじめに

## 取扱説明書（本書）をお読みください。

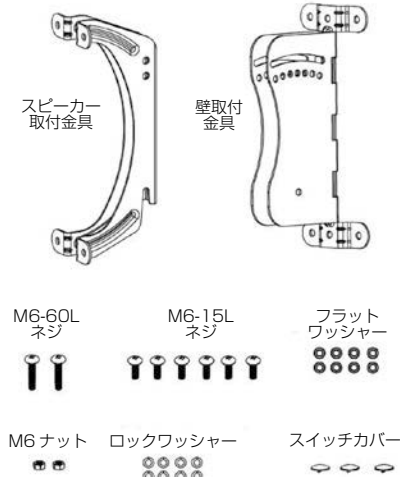
ご使用いただくまえに必ず本書をお読みください。内容をよくご理解された上で、正しくお使いください。

## 付属品をご確認ください。

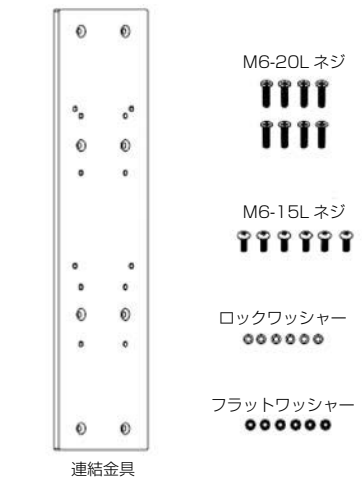
### ● CBT 100LA、CBT 50LA



### ● CBT 70J



### ● CBT 70JE



## 保証書について

- 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より2年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- 改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。

## 特長

- JBL PROFESSIONAL 独自の Constant Beamwidth Technology を投入し、大規模な会場で使用されるラインアレイ・スピーカーシステムと同様の滑らかで均一なカバレッジを実現。リスニングエリア内のどの位置でも、これまでにない均一な音質と明瞭度を提供。
- ストレートモデルと J 字型モデルの 2 タイプ。ドライバーを縦に並べた構造は効率よく音を放射できるため、高出力で遠達性も向上。

### ストレートモデル

- ・ CBT 50LA：コンパクトなモデル。スピーチ・音楽のどちらにも対応可能。
- ・ CBT 100LA：最長モデル。高い制御能力を持ち、スピーチ・音楽のどちらにも対応可能。

### J 字型モデル

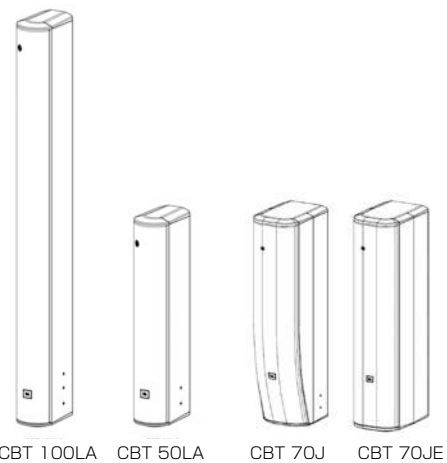
- ・ CBT 70J：同軸 2-Way フルレンジ。垂直方向に非対称なカバレッジを持つ。CBT による均一な音を寄り遠くに届ける一方、ダウンフィル部への過度の出力を抑え、前から後ろまで均一な音質に仕上げる。高品位な音楽ソースの再生に最適。
- ・ CBT 70J+CBT 70JE：拡張用スピーカー（CBT 70JE）を連結。許容入力が増し、45Hz まで低域を拡大。

- エンクロージャーは、異物の侵入と水の浸入に対する保護を規格化した IEC529 の等級 IP-54\* に適合した全天候型。

\* IP-54：水のしぶきを受けても影響を受けない。正常運転を阻害するような粉塵の侵入がない。

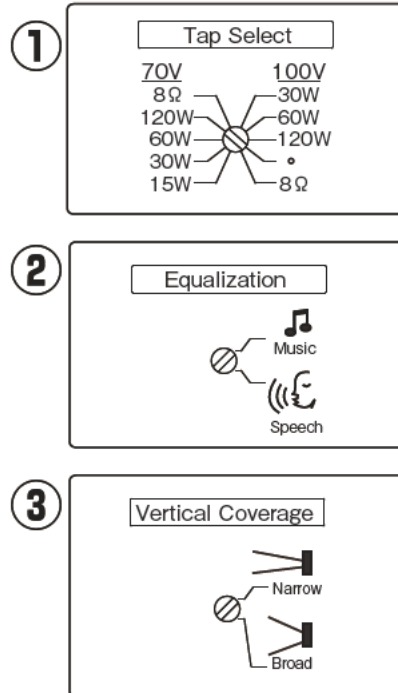
\* ウォータープルーフではありません。水中に沈めないでください。

\* 水量、氷結、積雪の激しい場所や湿気の多い場所には設置しないでください。



- ストレートモデルの CBT 50LA と CBT 100LA は、ハイインピーダンス接続が可能な 70/100V 対応のトランスを標準装備。トランスをバイパスしたローインピーダンス接続にも対応。
- CBT 100LA と CBT 70J のボディ横についているスイッチで、中距離用 / 長距離用と音楽再生用 / スピーチ音声用を切り替えられ、状況に応じた設定が可能。

# 切替スイッチの設定



## ①トランスタップの切り替え

CBT 50LAとCBT 100LAには、70V/100Vラインに対応するトランスタップがあります。必要に応じて設定してください。

## ② Music/Speech モードの切り替え

CBT 50LA/100LAとCBT 70Jの側面にある「Equalization」の「Music」と「Speech」スイッチを切り替えることにより、音源を最適化します。

Music：平坦な周波数レスポンス  
Speech：中域を持ち上げた周波数レスポンス

### ※ Speech モードの選択にあたって

- ・パラメトリックEQやDSPなど外部機器のないシンプルなスピーカーシステムの場合、講義、拡声、館内放送などスピーチ主体で使用するときは、中域を強調する「Speech」に設定することをお勧めします。
- ・Musicモードでは周波数レスポンスを平坦化するパッシブフィルターが作動しますが、Speechモードはスピーカーの自然な出力です。スピーカーの自然な出力には高い感度の中域を含んでいるため、Speechモードにすると中域が4～5dB高く出力されます。強調された中域は周波数レンジ内で高められた感度から稼ぎ出されるので、出力パワーは同じです。
- ・パラメトリックEQやDSPなどの外部機器と一緒に使用している場合、スピーカーをSpeechモードにセットして外部のEQ(3.5kHz、-4～-5dB、3oct)で周波数を平坦化して使用できます。4～5dB高く出力されるため、中域の周波数におけるヘッドルームが必要になります。
- ・複数のCBTを70V/100Vの定電圧伝送で使用するシステムの場合、SpeechモードにしたスピーカーとMusicモードのスピーカーを混在して使用することもできます。

## ③垂直方向のカバレッジの設定

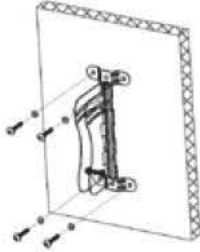
CBT 100LAとCBT 70Jには、垂直方向のカバレッジを切り替えるスイッチがついています。「Vertical Coverage」と書かれており、「Narrow」と「Broad」を切り替えます。通常、長距離に音を届けたい場合は「Narrow」に、広大なエリアに音を届けたい場合は「Broad」にします。

	Narrow	Broad
CBT 100LA	15°	40°
CBT 70J	25° (軸から9°上、 16°下まで)	45° (軸から17°上、 28°下まで)

# 設置方法

## ●壁への設置方法

- ①パワーアンプからスピーカーを取り付けたい場所までケーブルを引く。
- ②壁取付金具を壁に取り付ける。



水準器を使用して、壁取付金具がまっすぐかどうか確かめ、壁に取り付けます。金具の取り付けの際には、壁の強度を確かめてください。4つの穴すべてを使用し、安全を最大限確保してください。取り付け用の穴は、四隅に設けてあります。

### ⚠注意

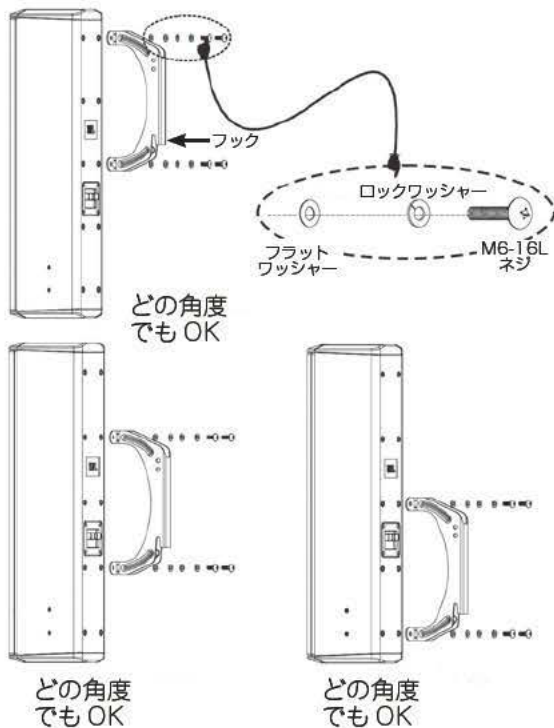
- 取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。
- 天井・壁取り付け用のネジ・ナット類は、設置面の素材によって選定する必要があります。本体に付属しておりません。設置状況を考慮して、適切なものをご用意ください。

## ③スピーカーにスピーカー取付金具を取り付ける。

スピーカー取付金具は、下図のようにフックのあるほうを下にします。4つの穴すべてを使用して取り付けてください。

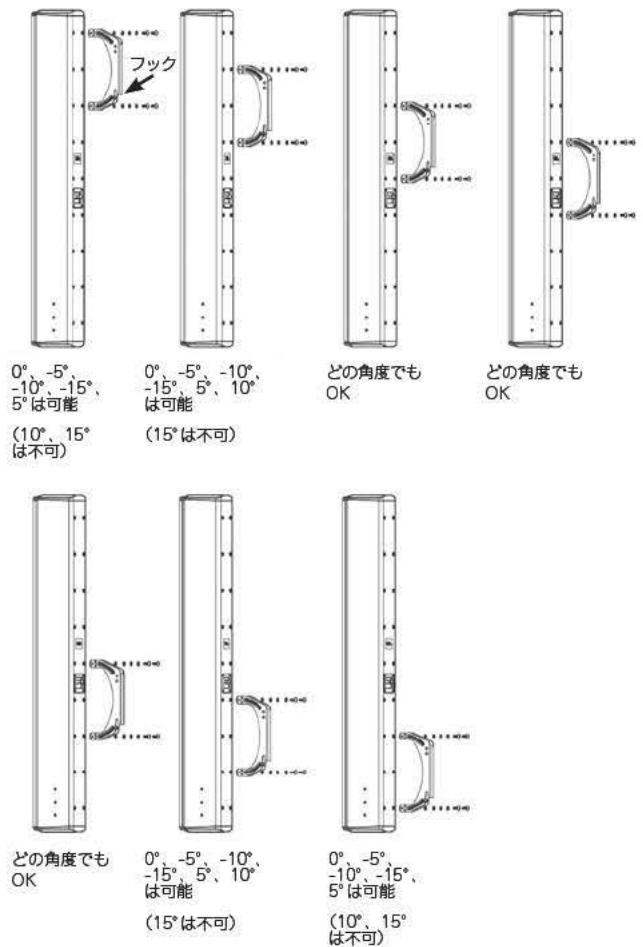
### CBT 50LA

付属のM6-16Lネジを使用します。CBT 50LAには、3箇所の取り付け位置があります。一番適したところを選択して取り付けます。下図に示した取り付け位置を確認してください。



### CBT 100LA

付属のM6-16Lネジを使用します。CBT 100LAには、7箇所の取り付け位置があります。一番適したところを選択して取り付けます。下図に示した取り付け位置を確認してください。

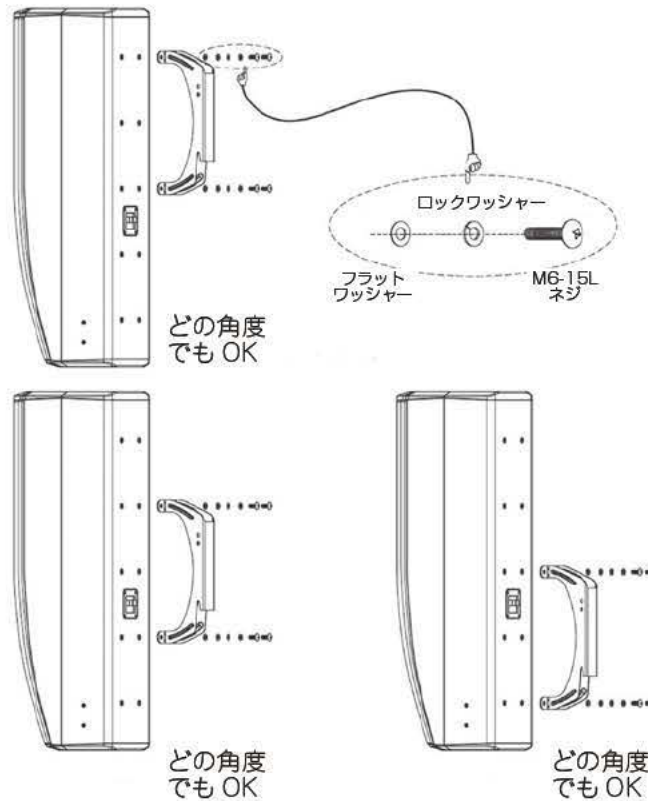




# 設置方法

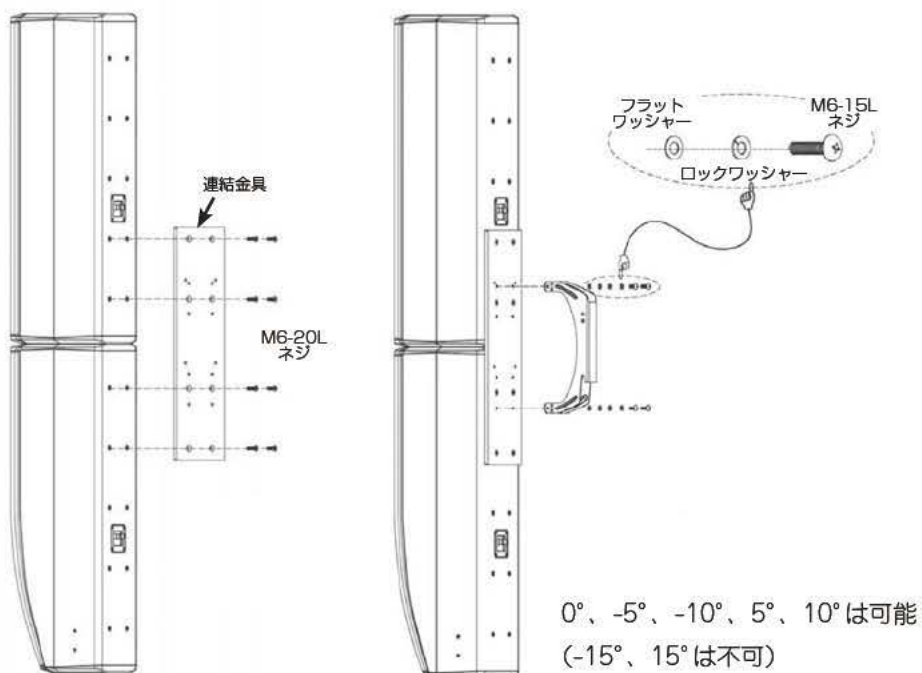
## CBT 70J

付属の M6-16L ネジを使用します。CBT 70J には、3 箇所の取り付け位置があります。一番適したところを選択して取り付けます。下図に示した取り付け位置を確認してください。



## CBT 70J + CBT 70JE

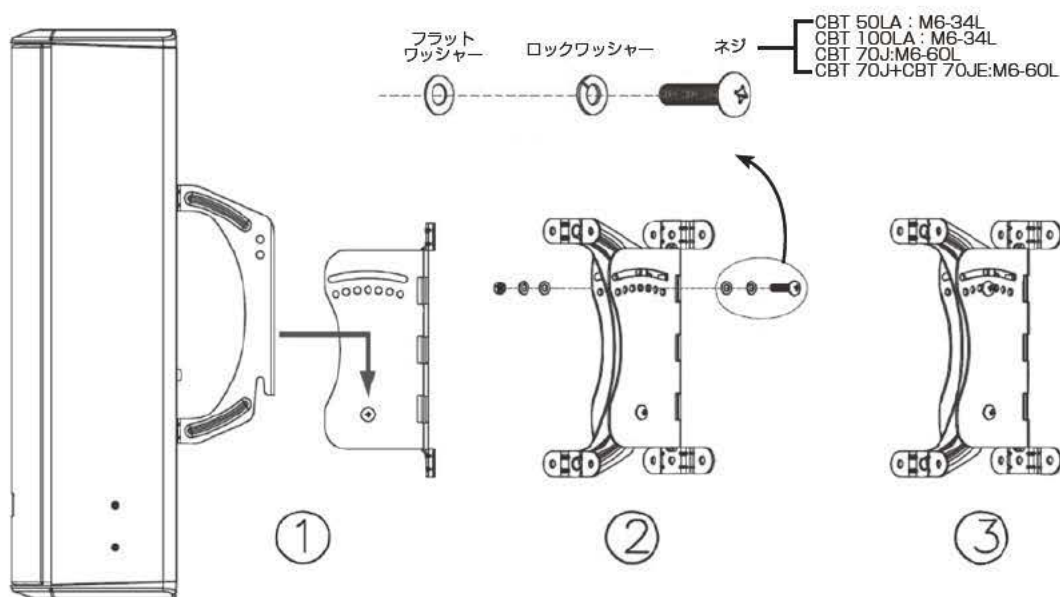
CBT 70JE に付属している連結金具を 8 個の M6-20L ネジを使用して CBT 70J と CBT 70JE を連結します。その後、CBT 70J に付属しているスピーカー取付金具を取り付けます。下図に示した取り付け位置を確認してください。



## 設置方法

### ④スピーカーに取り付けたスピーカー取付金具を壁取付金具に嵌める。

スピーカー取付金具を壁取付金具に差し込み、壁取付金具のほうにスピーカーを倒すようにして、スピーカー取付金具のフックを壁取付金具の軸（あらかじめ壁取付金具にゆるく取り付けられている）に嵌めます。



### ⑤傾きの角度を決める。

壁取付金具の軸にスピーカー取付金具が安全に嵌まったことを確認します。希望の傾きを決めたら、壁取付金具上に設けられた傾きの穴にそれぞれのスピーカーに付属しているネジを差し込みます。

CBT 50LA、CBT 100LA  
対応ネジ：M6-34L

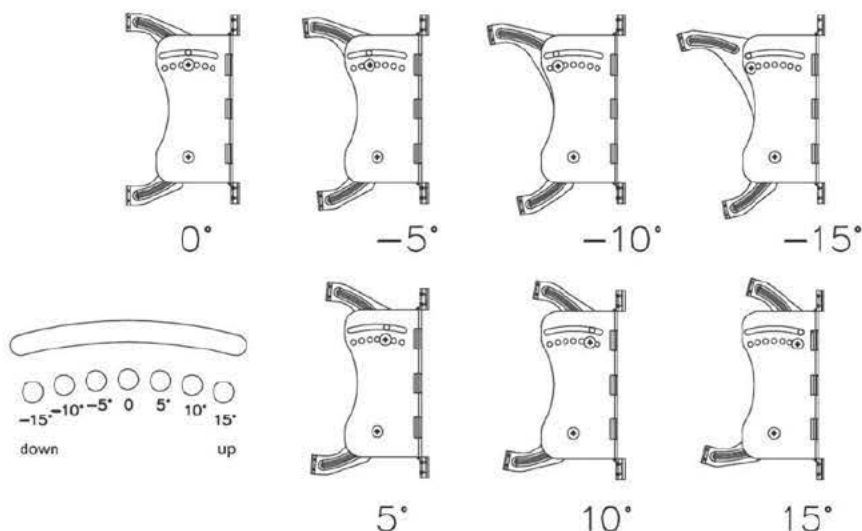
CBT 70J、CBT 70J+CBT 70JE  
対応ネジ：M6-60L

#### a) 傾きの角度について

±15°の傾きを持たせることができます。極端な角度はスピーカーが壁に当たってしまいますので推奨できません。p.5～6の図を参照にして適切な角度で使用してください。

#### b) プリセットの角度、微調整可能な連続可変の角度

5°ずつの刻みで±15°までの角度がつけられる穴があらかじめ設置されています。また、その上に連続可変で微調整が可能な穴がつけられています。正確に狙うためには、プリセットの穴を利用することを推奨します。



#### c) 角度の設定を安全に行う

角度を決めたら、付属のネジ、ナットを使用してきっちり締めます。

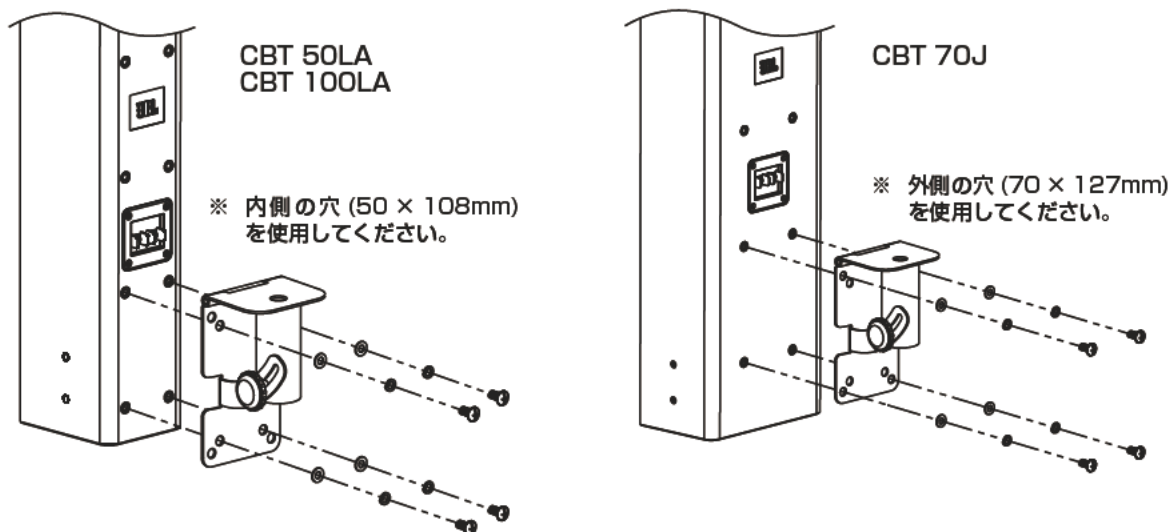
### ⑥セーフティワイヤー（付属していません）を取り付ける。

安全のためスピーカーのキャビネット裏の6mmネジ穴と付属のネジ（CBT 50LA/100LA:M6-16L、CBT70J,CBT70JE:M6-15L）を利用してセーフティワイヤーを取り付けます。もう一方の先端を壁側のスピーカーを支えられる場所に取り付けます。

## 設置方法

### ●スピーカースタンドへの設置方法 (CBT 50LA、CBT 100LA、CBT 70J)

MTC-CBT-SMB1 (オプション) を使用して、CBT 50LA、CBT 100LA、CBT 70J を JBL PROFESSIONAL の SS2-BK のような直径 35mm のスピーカースタンドへ設置します。



#### 注意

- MTC-CBT-SMB1 は、CBT 70J と CBT 70JE の連結アレイには対応していません。
- 金具はスタンドの前方にスピーカーの重力の中心を置くためスタンドが不安定になります。スピーカー重量に耐えられるよう、足幅の広いスタンドを使用する、砂袋をスタンドの足に載せるなど、安定性を高め、倒れないようにしてください。不安定な場合は、使用しないでください。

#### ① MTC-CBT-SMB1 をスピーカーに取り付ける

MTC-CBT-SMB1 に付属している4つのネジ(直径6mm × 長さ16mm × ねじ山のピッチ1mm)、フラットワッシャー、ロックワッシャーを使用して、MTC-CBT-SMB1 を CBT の背面にある4つのインサートポイントに取り付けます。

#### ②スピーカースタンドに取り付ける

金具をスピーカースタンドの35mm ポールに差し込んでください。

#### ③スピーカーの角度を調節する

金具の角度調節つまみを緩め、スピーカーの角度を調節します。調整した角度でスピーカーの安定性を確認し、角度調節つまみを締めます。



# 仕様

型番	CBT 50LA	CBT 100LA
ドライバー構成	50mm フルレンジ× 8	50mm フルレンジ× 16
周波数レンジ (-10dB)	80Hz ~ 20kHz	80Hz ~ 20kHz
指向角度	垂直 20° (1.5kHz ~ 16kHz、± 10°) 水平 150° (1kHz ~ 4kHz、± 20°)	垂直 (スイッチ切り替え) Narrow : 15° (2kHz ~ 16kHz、± 10°) Broad : 40° (1kHz ~ 16kHz、± 10°) 水平 150° (1kHz ~ 4kHz、± 20°)
感度 (2.83V@1m)	93dB SPL (Speech モード、2kHz ~ 14kHz)  89dB SPL (Music モード、300Hz ~ 18kHz)	Narrow 96dB SPL (Speech モード、2kHz ~ 14kHz) 93dB SPL (Music モード、300Hz ~ 18kHz)  Broad 93dB SPL (Speech モード、2kHz ~ 14kHz) 90dB SPL (Music モード、300Hz ~ 18kHz)
最大音圧	115dB SPL (Speech モード、121dB SPL ピーク) 111dB SPL (Music モード、117dB SPL ピーク)	Narrow 121dB SPL (Speech モード、127dB SPL ピーク) 118dB SPL (Music モード、124dB SPL ピーク)  Broad 118dB SPL (Speech モード、124dB SPL ピーク) 115dB SPL (Music モード、121dB SPL ピーク)
許容入力※	150W ピンク / 600W ピーク	325W ピンク / 1300W ピーク
公称インピーダンス	8 Ω	8 Ω
トランス・タップ	100V 60W/30W/15W 70V 60W/30W/15W/7.5W	120W/60W/30W 120W/60W/30W/15W
入力コネクター	ネジ止め端子	ネジ止め端子
エンクロージャー	ABS 樹脂、黒または白 (-WH) 全天候型 (IP-54)	ABS 樹脂、黒または白 (-WH) 全天候型 (IP-54)
寸法 (幅×高×奥行)	99 × 529 × 153mm	99 × 999 × 153mm
質量	4.2kg	7.0kg
付属品	壁取り付け金具	壁取り付け金具
オプション	スピーカースタンド取付金具 (MTC-CBT-SMB1) 入力パネル防水カバー (MTC-PC2)	スピーカースタンド取付金具 (MTC-CBT-SMB1) 入力パネル防水カバー (MTC-PC2)

※ IEC ピンクノイズ、クレストファクター、6dB、2時間

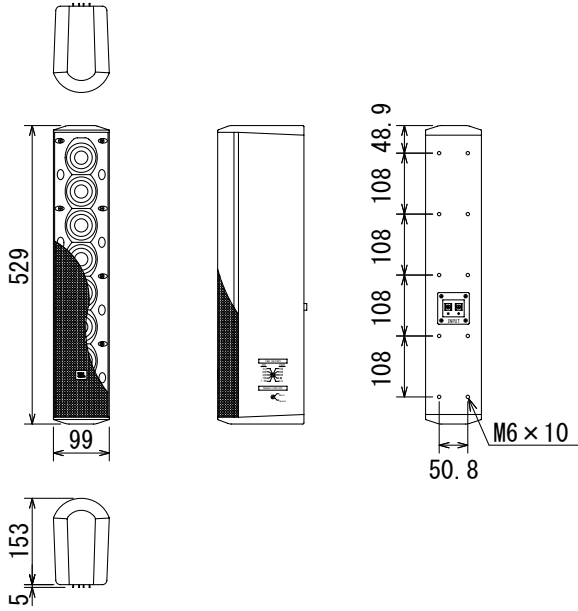
# 仕様

型番	CBT 70J	CBT 70JE	CBT 70J と CBT 70JE の 連結アレイ
ドライバー構成	LF : 127 mm × 4 HF : 25mm × 16	LF : 127 mm × 4	—
周波数レンジ (-10dB)	60Hz ~ 20kHz	45Hz ~ 700Hz	—
指向角度	垂直 (スイッチ切り替え) Narrow : 25° (2kHz ~ 16kHz、± 10°) Broad : 45° (750Hz ~ 16kHz、± 10°) 水平 150° (500Hz ~ 8kHz、± 20°)	—	—
感度 (2.83V@1m)	Narrow 98dB SPL(Speech モード、 1kHz ~ 8kHz) 93dB SPL(Music モード、 300Hz ~ 18kHz) Broad 96dB SPL(Speech モード、 1kHz ~ 8kHz) 92dB SPL(Music モード、 300Hz ~ 18kHz)	90dB SPL(65Hz ~ 300Hz)	Narrow 98dB SPL(Speech モード、 150Hz ~ 8kHz) 94dB SPL(Music モード、80Hz ~ 18kHz) Broad 97dB SPL(Speech モード、 100Hz ~ 8kHz) 93dB SPL(Music モード、70Hz ~ 18kHz)
最大音圧	Narrow 125dB SPL(Speech モード、 131dB ピーク) 120dB SPL(Music モード、 126dB ピーク) Broad 123dB SPL(Speech モード、 129dB ピーク) 119dB SPL(Music モード、 125dB ピーク)	117dB SPL	Narrow 125dB SPL(Speech モード、 131dB ピーク) 121dB SPL(Music モード、 127dB ピーク) Broad 124dB SPL(Speech モード、 130dB ピーク) 120dB SPL(Music モード、 126dB ピーク)
許容入力※	500W ピンク /2000W ピーク	500W ピンク /2000W ピーク	1000W ピンク /4000W ピーク
公称インピーダンス	8 Ω	8 Ω	4 Ω
トランス・タップ 100V 70V	— —	— —	— —
入力コネクター	ネジ止め端子	ネジ止め端子	
エンクロージャー	ABS 樹脂、黒または白 (-WH) 全天候型 (IP-54)	ABS 樹脂、黒または白 (-WH) 全天候型 (IP-54)	—
寸法 (幅×高×奥行)	170 × 694 × 237mm	170 × 695 × 237mm	—
質量	9.6kg	8.5kg	—
付属品	壁取り付け金具	連結金具	—
オプション	スピーカースタンド取付金具 (MTC-CBT-SMB1) 入力パネル防水カバー (MTC-PC2)	入力パネル防水カバー (MTC-PC2)	—

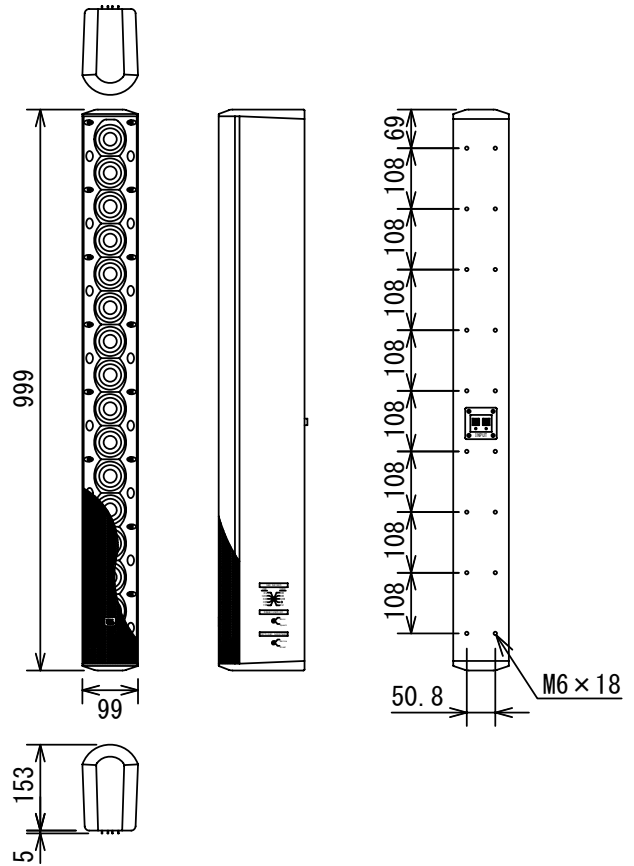
※ IEC ピンクノイズ、クレストファクター、6dB、2 時間

# 寸法図 (単位: mm)

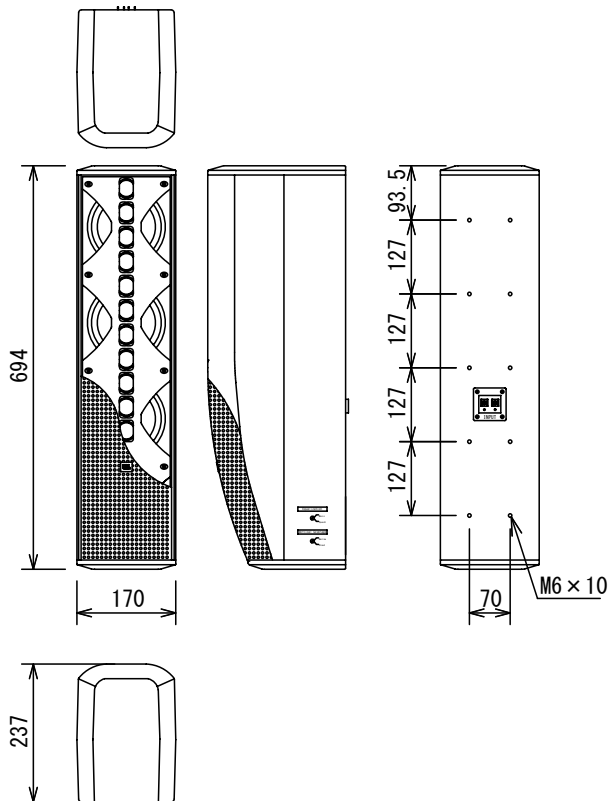
● CBT 50LA



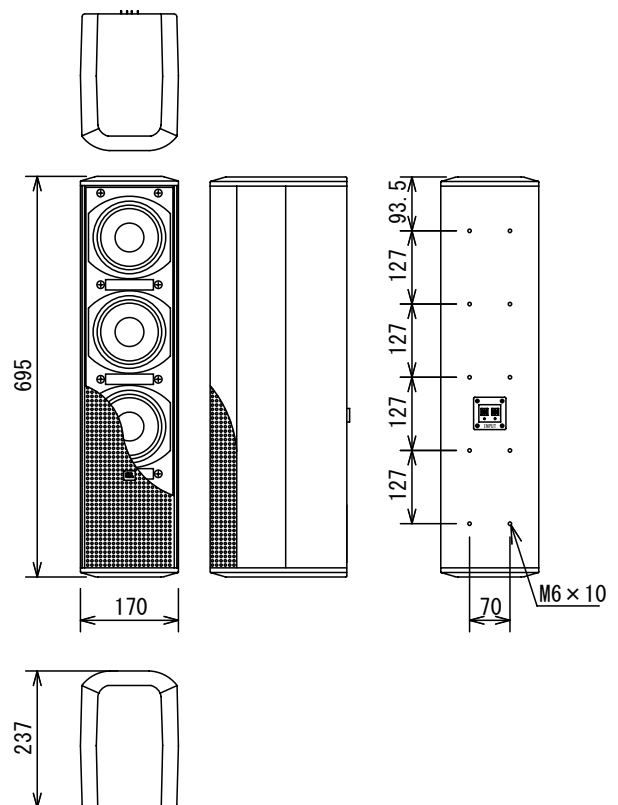
● CBT 100LA



● CBT 70J

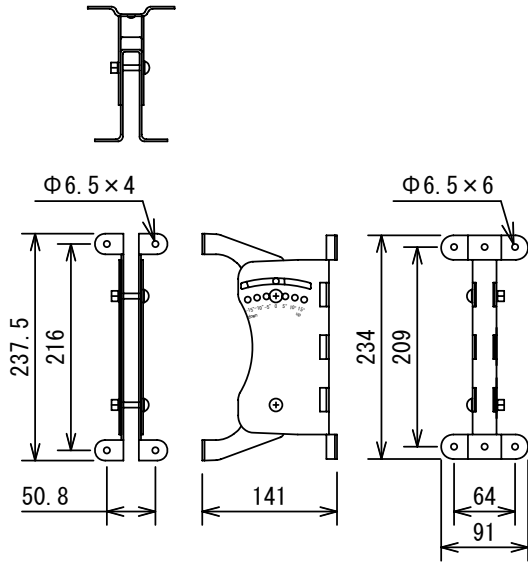


● CBT 70JE

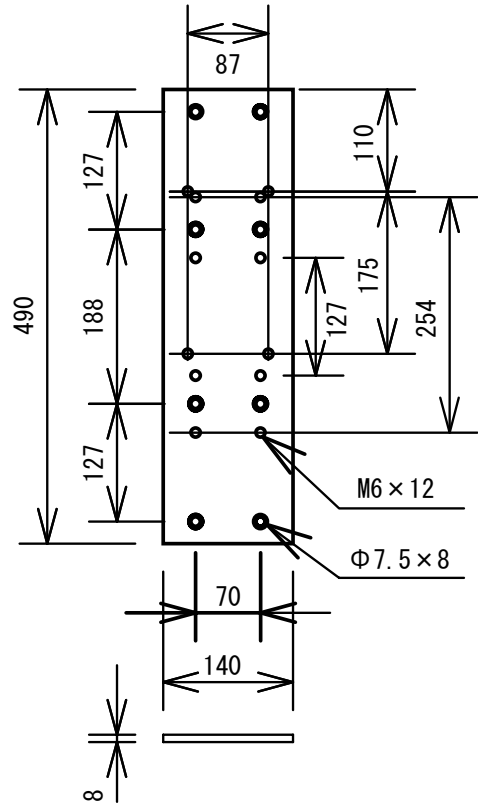


# 付属品の寸法図 (単位: mm)

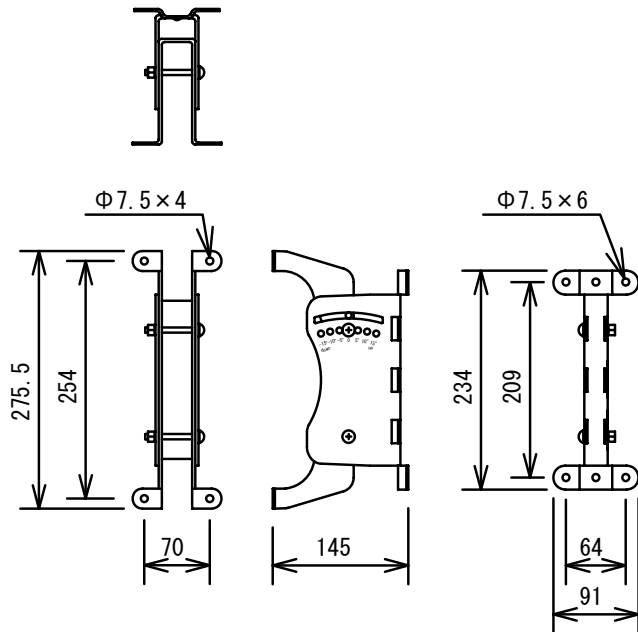
## ● CBT 50LA、CBT 100LA



## ● CBT 70JE



## ● CBT 70J



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、各社の登録商標または商標です。
- JBL PROFESSIONAL は、A Harman International Company のブランドです。

10/03

# HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>  
E-mail: [proaudiosales@hibino.co.jp](mailto:proaudiosales@hibino.co.jp)

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部  
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12  
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111  
北海道オフィス  
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三條1-1-20  
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ランチ  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8  
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891  
名古屋オフィス  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26  
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ランチ  
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6  
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509